



平成 27 年 1 月の住宅着工の動向について

平成 27 年 1 月の住宅着工戸数は 67,713 戸で、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響が大きかった前年同月比では、13.0%減となった。一方、そのような影響のない前々年同月と比べると、2.3%減となっている。また、季節調整済年率換算値では 86.4 万戸(前月比 2.1%減)となった。利用関係別にみると、実数値では、持家、貸家、分譲住宅とも前年同月比で減となった。季節調整値では、持家及び分譲住宅については前月比で増、貸家については前月比で減となった。住宅着工の動向については、リーマンショックを受けた大幅な下落(平成 21 年度)以降、緩やかな持ち直しの傾向が続く中、消費マインドの改善等により堅調に推移してきたが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、前年同月比で減となった。持家(注文住宅)の着工については、依然として低い水準で推移している。今般の経済対策等を踏まえ、住宅着工については、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。府県別では大阪 4,877 戸(前年同月比 12.4%↓)兵庫 1,830 戸(26.9%↓)岡山 1,025 戸(0.6%↓)、広島 1,160 戸(39.9%↓)である。

情報提供: 国土交通省

「LIXIL 省エネリフォームトクキャンペーン」開催



株式会社 LIXIL は、省エネ住宅ポイント対象となる LIXIL 製品をご採用いただき、省エネ住宅ポイント申請をしていただいた方の中から抽選で 240 名さまに、素敵な賞品をプレゼントする「LIXIL 省エネリフォーム トクキャンペーン」を、2015 年 3 月 1 日(日)から 2015 年 6 月 30 日(火)まで開催します。今ある窓にプラスするだけの内窓「インプラス」や、節水型タンクレストイレ「サティス」など、省エネ住宅ポイント対象の LIXIL 製品をご採用、ポイント申請いただき、ご応募いただいたお施主様の中から抽選で 80 名様に、10 万円分の旅行券や、大型液晶テレビやウォーターオーブンレンジといった、人気の最新家電製品をプレゼントします。さらに貰ったポイントを LIXIL 製品への即時交換申請を行っていただいた方の中から抽選で 160 名様に、全国 35,000 店舗の大手外食店などでご利用いただけるグルメカード(3,000 円分)をプレゼントするトク賞も設けています。

情報提供: LIXIL

10kW未満太陽光の買取価格案、来年度は33円/kWhから

調達価格等算定委員会は 2015 年度の買取価格案をまとめた。太陽光発電については、10kW 未満の区分に買い取りを制御する出力抑制装置を設置する場合の新しい区分を設ける。装置ありの場合の買取価格は 1kWh 当たり 35 円、装置なしの場合は同 33 円とする。10kW 以上太陽光の区分は時期により差をつける。6 月 30 日までは同 29 円、7 月 1 日以降は 27 円とする。買取価格はパブリックコメントを経て、年度内に決定する。固定価格買取制度は接続量の急増により、2 月 24 日時点で東京電力、関西電力、中部電力以外の電力会社管内の 10kW 未満太陽光は、4 月 1 日以降出力制御装置の設置が義務付けの対象となっている。そのため装置の設置コストを反映して、その負担増分を 1kWh あたり 2 円上乗せする。2014 年度の 1kWh 当たり 37 円から、装置ありで 2 円、装置なしで 4 円安い水準となる。10kW 以上の太陽光については、普及が進んできたことから 7 月 1 日以降、法律で定められていた「優遇措置」を廃止し価格を 2 円引き下げる。同区分の 2014 年度の買取価格は 32 円。また木質バイオマスについては、未利用木材について 2000kW 未満の新しい区分を設け、1kWh あたり 40 円という買取価格を設定した。2014 年度までは出力にかかわらず一律 32 円で、8 円引き上げられることになる。未利用材の活用を促す狙い。

2015年度の再生可能エネルギー固定価格買取制度の買取価格案(変更がある部分のみ抜粋)

	10kW未満太陽光		10kW以上太陽光		木質バイオマス (2000kW未満の 未利用木材)
	出力制御 装置あり	出力制御 装置なし	4月1日～ 6月30日	7月1日～	
買取価格案	35円/kWh	33円/kWh	29円/kWh	27円/kWh	40円/kWh
2014年度実績	37円/kWh		32円/kWh		32円/kWh

情報提供: 新建ハウジング

蓄熱フローリングx放熱パネルによる新しい床冷暖房システム

永大産業と三菱樹脂インフラテックは 3 月 2 日、蓄熱性能をもつ木質フローリングと高出力放熱パネルを組み合わせ、再生可能エネルギーを利用した新しい冷暖房を可能にする床「エコ熱プラス」を発売する。12 ミリ厚の木質フローリングのなかに 5 ミリ厚のゲルシート状の潜熱蓄熱材を封入し、専用放熱パネルを組み合わせた蓄熱フローリングシステム。内部に蓄熱機能をもたせたことで、蓄熱槽を設置するスペースが不要になるだけでなく、エネルギーの移動にともなうロスを抑えることができる。冬場は、太陽熱や廃熱でつくられた 40~60 度の温水を放熱パネル内の架橋ポリエチレン管で循環させることで、蓄えた熱をゆっくりと放出。快適な温度をキープする。夏場は、昼間の熱を蓄熱材が吸収し、温度を下げる効果が期待できるとする。新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)が 2014 年 6 月からスタートした「太陽熱活用システムの実証住宅での評価」において高性能蓄熱材として選定された。

情報提供: 新建ハウジング